
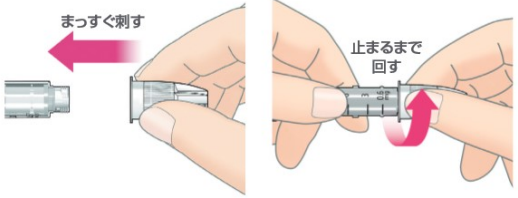
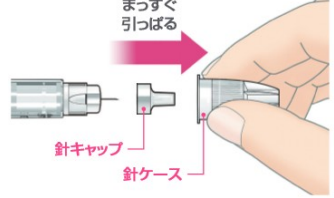


ビクトーザ® ペンの使い方 ダイジェスト版

監修 新潟薬科大学薬学部臨床薬学研究室 教授
朝倉 俊成 先生


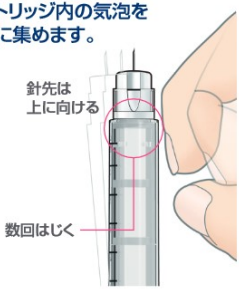
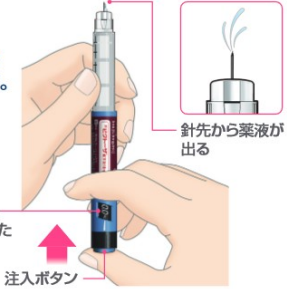
※「ビクトーザ®皮下注18mg」のペン型注入器部分の呼称

注射針の取り付け 手指を石鹸でよく洗ってください。

- お薬の名前と製剤区分マークを確認します。

- ペンのキャップをはすし、ゴム栓をアルコール綿で拭きます。注射針をゴム栓にまっすぐ奥まで刺し、止まるまで回します。

- 「針ケース」と「針キャップ」をまっすぐ引っぱってはずします。


注射針を斜めから刺さないでください。

空打ち


- ダイヤルを回し「空打ち目盛」をポインターに合わせます。

- カートリッジ内の気泡を上部に集めます。

- 針先を上に向けたまま、注入ボタンを押し込みます。


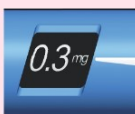
針先を上に向けて、注入ボタンを押し込みます。針先から薬液が出る。

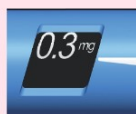
ダイヤル表示が「0.0mg」になったことを確認

注入ボタン

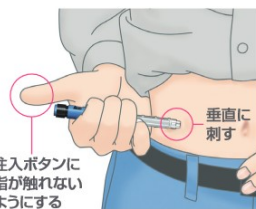

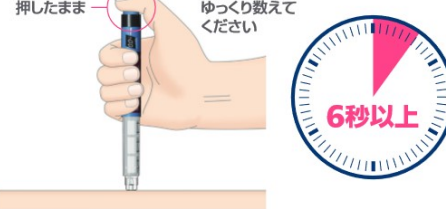

投与量の設定

- ダイヤルを回し、指示された量に合わせます。


正しくポインターに合わせた場合 

「mg」の位置からポインターがずれている場合 

注射

- 注射部位を消毒し、注射針を皮膚の面に対して、まっすぐに根元まで刺してください。

- 注入ボタンを真上から押してください。

- 6秒以上注射針を刺したままにします。

- 注入ボタンを押したまま注射針を抜いてください。


垂直に刺す

注入ボタンに指が触れないようにする

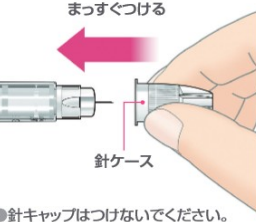
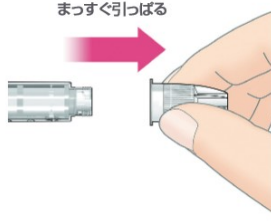

ダイヤル表示が「0.0mg」に戻ります。

押したまま ゆっくり数えてください

6秒以上

押したまま

注射が終わったら

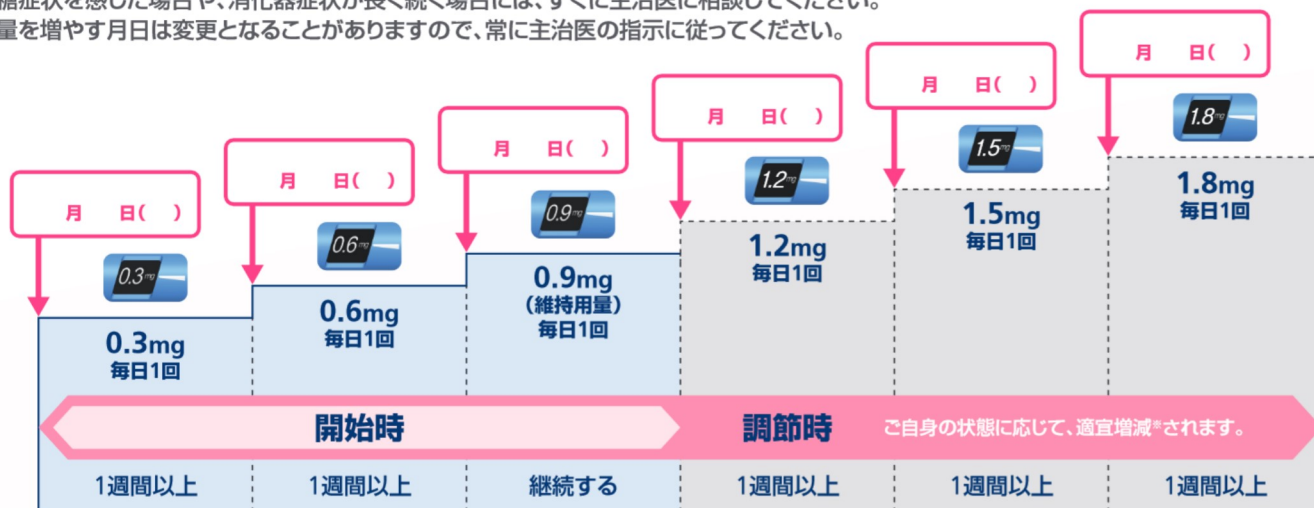
- 注射針に「針ケース」をまっすぐつけ、針ケースごと回します。

- まっすぐ引っぱって注射針をはずします。

- ペンにキャップをつけます。


●針キャップはつけないでください。

使用済みの注射針は、取り扱いに十分注意し、医療従事者の指示に従い危険のないように捨ててください。

投与量セルフチェックシート


主治医の指示に従って、投与量を増やす月日を記入してください。
 低血糖症状を感じた場合や、消化器症状が長く続く場合には、すぐに主治医に相談してください。
 投与量を増やす月日は変更となることがありますので、常に主治医の指示に従ってください。



※投与量は主治医の指示に従ってください

通常、成人には、リラグルチド(遺伝子組換え)として、0.9mgを維持用量とし、1日1回朝又は夕に皮下注射する。ただし、1日1回0.3mgから開始し、1週間以上の間隔で0.3mgずつ増量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減し、1日0.9mgで効果不十分な場合には、1週間以上の間隔で0.3mgずつ最高1.8mgまで増量できる。

故障かなと思ったら

現象	原因	対処法
注射針がつけられない	右の①、②の順で対処してください。	①注射針を交換してください。 ②注射針を交換してもつかない場合は、本剤を交換してください。
主治医から指示された量に設定できない	カートリッジ内の残量以上の量は設定できません。右の①、②のいずれかで対処してください。	①残量分を注射後、新しいものに交換し、空打ちした後、不足分を注射してください。 ②本剤を新しいものに交換し、空打ち後、主治医に指示された量を注射してください。
初期状態 ダイヤルが回らない		
カートリッジのゴム栓が膨らんでいる	 <ul style="list-style-type: none"> 注射針が正しく装着できていないまま、投与量を設定して注入ボタンを押しました。 注射針をつけずに、投与量を設定して注入ボタンを押しました。 	ゴム栓が過剰に膨らんでいると、注射針を正しく取り付けられなかったり、取りつけた場合にゴム栓が裂けることがありますので、新しいものに交換してください。注射後、ゴム栓が膨らんだことに気がついた場合は、設定した量の薬液が注射できていないおそれがあります。主治医に相談してください。 ●注射針は「注射針の取り付け」の説明通り正しく取りつけてください。
空打ちのとき、薬液が出ない(注入ボタンは完全に押し込める)	カートリッジの中に気泡が入っています。	気泡が抜け、薬液が出るまで空打ちを続けてください。 ●ごく小さな気泡は完全に打ち出すことはできませんが、これは故障ではありません。
空打ちのとき、薬液が出ず、注入ボタンが押しにくい(押せない)	注射針が曲がっている、または針穴が詰まっています。	新しい注射針に交換してください。 ●注射針は「注射針の取り付け」の説明どおり正しく取りつけてください。また、使用前に針を曲げたり傷つけたりしないでください。
注射のとき、注入ボタンが押しにくい(押せない)	注射針が曲がっている、または針穴が詰まっています。	ダイヤル表示の数字が、設定した量のままの場合は、ダイヤル表示を「0.0mg」に戻して新しい注射針に交換し、空打ちした後、注射してください。ダイヤル表示の数字が、設定した量から減っている場合(注入ボタンが一部動いた場合)は、設定した量の一部の薬液を注射したおそれがあります。主治医に相談してください。 ●注射針は「注射針の取り付け」の説明通り正しく取りつけてください。

●当社は、厳密な品質管理のもとに本製品を皆様のお手元にお届けしておりますが、万一故障や何らかの不具合がある場合は決して使用せず、主治医に相談してください。

製剤区分マーク※ 種類・薬効による分類を示すマークです。

 は超速効型インスリン製剤、 は持効型インスリン製剤、 はGLP-1受容体作動薬の仲間であることを示しています。

※製剤区分マーク:このマークは、日本糖尿病協会糖尿病医薬品・医療機器等適正化委員会にて検討・評価されて制定されました¹⁻³⁾。
 1)くすりと糖尿病 5(1)77-83(2016) 2)くすりと糖尿病 5(2)200-205(2016) 3)DM Ensemble Vol.5 No.3 2016 November. pp34

ノボケア相談室

製品に関する疑問・質問などは、お気軽に下記のノボケア相談室にお問い合わせください。

 **月曜日から金曜日**
(祝日・会社休日を除く)

 **0120-180363**

 **夜間及び
土日・祝日・会社休日**

(注)お問い合わせ内容によっては、翌営業日に回答させていただく場合がございます。

 **0120-359516**